

# 久場崎 と 舞鶴 -ふたつの港の戦後引揚げ-

当企画展は護佐丸歴史資料図書館と舞鶴引揚記念館の合同企画展となっています。会場にはふたつの展示スペースが設けられ、久場崎と舞鶴それぞれの展示を見ることができます。

## 久場崎の戦後引揚げ開始75周年記念企画展

久場崎港は沖縄の戦後引揚げの中心的役割を担った港です。この港は、沖縄戦のさなか米海軍建設部隊が1945年5月～6月に建設しましたが、当時の機能は前線への兵員と物資の供給拠点でした。

戦闘終了後は基地建設の物資受け入れや復員兵の送り出しに使われ、1946年8月以降、引揚げ港になりました。この展示では、当時の写真を中心に、引揚げの実態をお伝えします。



久場崎海岸の栈橋  
(所蔵：琉米歴史研究会)



久場崎収容所 DDT消毒の様子  
(所蔵：琉米歴史研究会)



久場崎収容所  
(所蔵：琉米歴史研究会)



トラックで移動する人々  
(所蔵：琉米歴史研究会)

## 令和3年度舞鶴引揚記念館全国巡回展 in 沖縄

本展示会は、京都府舞鶴市が所蔵する「シベリア抑留者」と「引揚事業」に関する資料が平成27年10月にユネスコ世界記憶遺産に登録されたことを契機として、全国の引揚港との連携、協力のもと、薄れゆく引揚げの歴史と平和の願いを国内外に発信する事を目的に開催しています。

第2次世界大戦の終結に伴い、60万人を超える日本人がシベリアをはじめ、旧ソ連全土の1800か所以上の収容所に抑留され強制労働を強いられた史実や、海外に残された多くの軍人、民間人を帰国させるため、引揚港に指定されたまちが、海外からの引揚者約630万人を受け入れた史実について紹介します。



回想記録画 (作者：木内信夫)



スケッチブック



手作りの麻雀牌



白樺日誌



シベリアでの服装



舞鶴引揚記念館  
住所：京都府舞鶴市字平 1584 番地  
電話番号：0773-68-0836

### 舞鶴引揚記念館について

舞鶴引揚記念館は昭和63年(1988)、多くの引揚者が祖国への第一歩を踏みしめ、人生の再スタートを切った舞鶴市平の地に、日本全国からの寄付金を受け設立したものです。

日本本国への苦難に満ちた引き揚げと筆舌に尽くしがたい旧ソ連領内の抑留生活の歴史を後世に伝え、平和の尊さを世界に発信しています。戦後70年を迎えた平成27年(2015)、その収蔵資料の中から570点が、特に希少性が高く、世界的にも重要性を持ち、広く世界の人々が共有すべき資料として、ユネスコの世界記憶遺産に登録されました。

舞鶴引揚記念館  
ホームページ QR

